



# 福島県民健康セミナー～日本一の健康県を目指して～

◆主催：福島民報社 ◆後援：公立大学法人 福島県立医科大学 ◆特別協賛：JA共済連福島

「日本一のふくしまをつくる」を年間スローガンに掲げる福島民報社。その一環として、「日本一の健康県」を目指す「健康セミナー」を開催しております。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で紙面による健康セミナーを実施します。今回は「自分の生活や健康を見直すきっかけに」と「県民の健康状況と福島県の取り組み」をテーマに紹介します。福島県が目指す健康長寿県の実現に向けた県民の健康づくりを後押しします。

県民の健康状況は「いいで申し上げますと、県民の健康指標は厳しい状況です。例えば、メタボリック症候群を有する方の割合だと、震災前の二〇一〇（平成二十二）年度では15・2%で全国ワースト十四位でした。が、震災後は、二〇一三年度で三位、直近となる二〇一八年年度では18・1%で4位と常に悪い方から上位となってしまいます。

次に、健康寿命ですが、男性は震災前の二〇一〇年は六九・九七歳であったものが、直近の二〇一六年では、七一・五四歳で全国三十六位となつており、全国平均七二・一四歳を下回っています。一方女性は、震

## 県民の 健康状況について



福島県保健福祉部  
健康づくり推進課  
課長 渡邊 重勝氏

## 県民の健康状況と福島県の取り組み

例題を見て、なんとかしてみましょう。例えば喫煙する。自転車に乗って通勤する。近所を散歩するなど、それほどお金をかけずに楽しく、続けられることはあります。春に向かい気候も良くなってきます。自然と触れ合うこと、地元のおいしい食材に目を向けるのもいいでしょ。家庭菜園なども心と体のリフレッシュ

キビタン健康ネットの  
有効性について

**有効性は**「**ギビタン健康ネット**」は、**県内の医療施設などを安全**

な社会問題になるでしょう。受動喫煙も同じ現象が起こり得ますので家族や身の回りの方のためにも吸わないという選択肢が一番です。

## 重要性について

**健康づくりへの  
県の取り組み**

## 健康づくりへの 県の取り組み

引き続き、健康長寿ふくしま会議の下、幅広い世代が気軽に健康づくりに取り組める機会の充実を図りながら、健康づくりの取り組みが個人はもとより、地域や職域へとさらに広がっていくよう、全国に誇れる健 康長寿県の実現に向け取り組んでいきます。

災前の二〇一〇年は七四・〇九歳であったものが、直近の二〇一六年では、七五・〇五歳で全国二十四位となつており、全国平均の七四・七九歳を上回っています。健康寿命については男女ともに延伸しているものの、全国も同様に延びている状況です。

それ以外にも、喫煙率の高さや、運動習慣のある人が減ったり、子どもの虫歯、肥満が多いといった特徴もあり、健康寿命延伸に係る健康指標は全国中位から下位にあるものが多く、これらの生活習慣を改善していく必要があります。

組み

また、各診療所は拠点病院で診療に用いる患者の画像データも閲覧できるため、離れた場所の診療所などでそのデータを利用した診療も可能となります。「キビタン健康ネット」を多くの医療機関が利用して診療に反映させ医療を行なうことは、地域医療の質の向上につながると考えられます。

情報を、その後の診療に生かす地域医療連携ネットワークシステムです。コロナ感染者が療養するホテル施設にも端末を入れ、大きな成果を得ています。病状が悪化した際、直ちにデータを受け入れ先の病院に送り、本人が病院に行けば、すぐに適切な治療が始められる仕組みを実現しました。この仕組みは情報提供病院の検査画像、検査結果、治療内容、服薬などについて、かかりつけ診療所、薬局でも説明を受けることができ、ます。診療情報を地域の医療機関が共有するため、転院や在宅療養時も安心で、検査や処方などの重複を削減することにもつながり、

三

コロナ禍の  
建築



一般社団法人  
福島県医師会

## 禁煙の重要性について

県活動「10アクション・シェア」  
、くるま、くらし・営農に関わる  
活動に取り組んでいます。

JA共済は、福島県民の健康づくりを応援しています。

